

# 令和3年度 事業報告書

## (1) 法人としての取り組み

### ①新型コロナウイルスによる職員体制の整備

新型コロナウイルスの感染が拡大したことから、職員体制の整備を行った。法人からの休業要請についてケース別で整備し、説明することで、コロナ禍の中でも職員が安心して働ける環境の整備へと繋がった。

### ②ICT(保育業務支援ソフト)の新システム導入について

ICTについて3つのソフトを比較検討し、「Child Care Web」の導入を決定した。Child Care Webの導入により、保護者の情報統括や一斉連絡機能が可能となり、開所時間外の緊急時においても対応する事が容易となった。また、ICTの切り替えに伴い、保育記録書類の見直しを行う。今まで重複して記録をしていたものや書類の形式の根本的な見直しを図ることで、職員の業務量への負担が減少し、労働環境の改善に繋がった。

### ③職員研修と保育環境の整備について

昨年度より引き続き、子ども達の主体性を尊重する保育についてOJT(園内研修)で学んできた。今年度は「子どもの主体性を引き出す環境づくり」という事をテーマにOJTを進めていった。子ども達の育つ環境はどのようなものが良いか各クラス毎に意見を出し合い、実際に保育環境を変え、実践する段階まで進むことができた。話し合い、学びを実践することで職員にとっても大きな自信に繋がった。

### ④行事の見直しについて

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、保護者会をオンラインで開催する事が達成できた。それまでは規模を縮小して行ったり、書類配布をもって開催していた所から、直接保護者へ説明ができたり、保護者同士もコミュニケーションを取ることが可能となった。また、今年度は運動会の開場を上平井中学校から二上小学校へ変更することで、乳児と幼児、2部制の運動会を開催することができた。昨年度は乳児組が開催できなかったもので、保護者からの反響も大きかった。

### ⑤第三者評価の実施

令和3年度は第三者評価の実施年であった。保護者のアンケートは「満足」「大変満足」と併せて90%以上の満足を達成することができた。

### ⑥葛飾区指導検査の実施と結果について

令和3年8月書類提出、11月に訪問での指導検査が実施された。文書指摘に該当する事項はなく、口頭のアドバイスにとどまる結果となった。過去にはなかった指導内容としては、新型コロナウイルス対策が挙げられる。

## (2) 保育の報告

保育の内容は安全性を最優先に、人権に配慮しつつ、落ち着いた、基本に忠実な良質の処遇となるよう全職員で取り組み、保育指針への適応にも取り組んできた。なお、保育の詳細については、「2020年度 保育の報告書」を参照願いたい。

## (3) 給食・食育の報告

別紙「給食・食育の報告」を参照願いたい。

#### (4) 保健の報告

別紙「保健報告」を参照願いたい。

#### (5) 苦情解決

苦情解決委員が招集される苦情はなし

\*人員構成（看護師、主任保育士等を除く。）

年齢	クラス名	クラス定員 ( ) 内は3/1実員	保育士配置数
0歳児クラス	ひよこ組	9名(9)	3名
1歳児クラス	あひる組	12名(12)	2名
2歳児クラス	ひばり組	12名(12)	2名
3歳児クラス	うさぎ組	12名(10)	1名
4.5歳児クラス	くま・ぞう組	25名(23)	2名
計		70名(69)	12名
一時保育	りす組	(~5名)	(2名(兼任))

職員---17名 ほかに非常勤職員等17名